

# 播陽証券 ～注目・外株銘柄～ (2017年11月)

## 【米国市場・15銘柄掲載】

【ハイテク主力】	アルファベット(GOOGLE)	インターネット検索サービス世界最大手	---	P1
【ハイテク主力】	フェイスブック(FB)	世界最大のSNS運営会社	---	P2
【ハイテク主力】	アップル(AAPL)	デジタルIT機器の設計・販売大手	---	P3
【ハイテク主力】	ネットフリックス(NFLX)	動画配信サービス最大手	---	P4
【クラウド】	アマゾン・ドットコム(AMZN)	インターネット小売世界最大手	---	P5
【半導体】	エヌビディア(NVDA)	画像処理半導体(GPU)開発企業	---	P6
【半導体】	ブロードコム(AVGO)	通信用半導体大手	---	P7
【金融】	モルガン・スタンレー(MS)	米投資銀行大手	---	P8
【フィンテック】	ビザ(V)	クレジットカード決済サービス世界最大手	---	P9
【フィンテック】	ペイパル・ホールディングス(PYPL)	決済サービス大手	---	P10
【消費】	アリババ・グループADR(BABA)	中国電子商取引最大手	---	P11
【消費】	プライスライン・グループ(PCLN)	オンライン旅行代理店の世界大手	---	P12
【医療設備】	インテュイティブ・サージカル(ISRG)	外科手術ロボットを製造・販売	---	P13
【電気自動車】	テスラ(TSLA)	高級電気自動車メーカー	---	P14
【電気自動車】	アルベマール(ALB)	リチウム等を生産する特殊化学品メーカー	---	P15

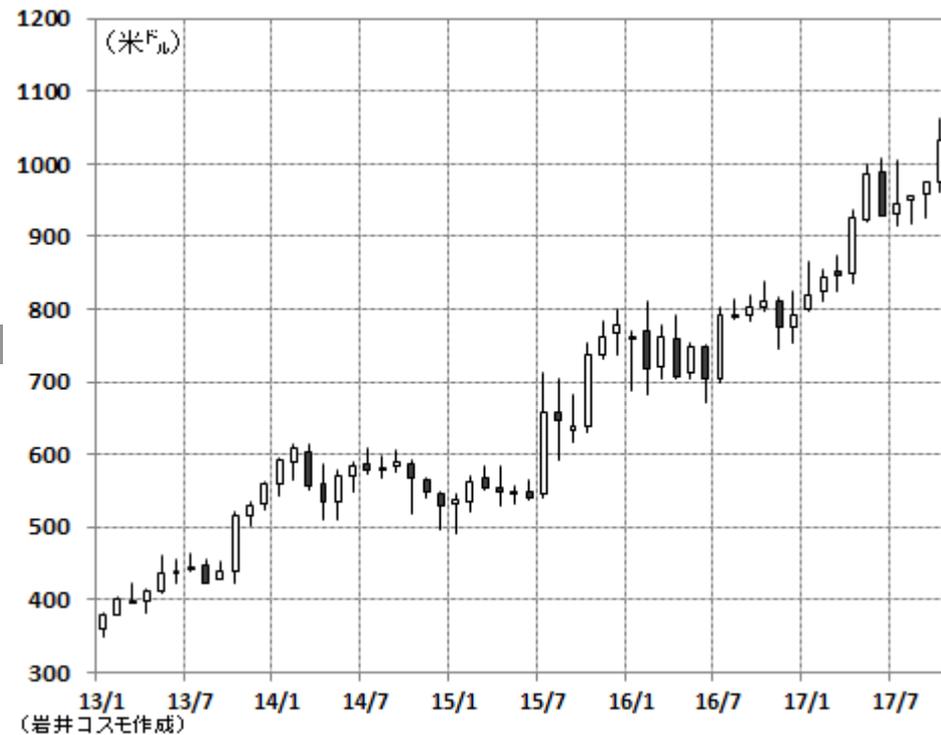
### インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告市場拡大の恩恵享受

#### 会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は78,101人(17年9月末)。

#### 注目ポイント

- **ネット広告市場拡大の恩恵享受**: 米国の検索シェアは6割超と他を引き離す。広告主がテレビCMからインターネットに比重を増やしており、ネット広告市場拡大の恩恵を享受することが予想される。
- **17年7-9月期は24%増収。広告・広告外収入双方に伸び**: 17年第3四半期業績は前年同期比24%増収。モバイル広告や動画サイト「ユーチューブ」向け広告収入が好調、有料クリック数は同47%伸びた。またクラウドやアプリ関連収入、AIスピーカー販売等が貢献し広告外の収入は同40%増の34億ドルとなり、売上全体の12%を占めた。
- **「ユーチューブ」の月間視聴者数は15億人**: 「ユーチューブ」の視聴者は月間15億人に、1日平均の視聴時間は1時間以上に達したと公表。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1033.13 ( 10/30 )
52週高値(日付)	1063.46 ( 17/10/27 )
52週安値(日付)	744.03 ( 16/11/14 )
時価総額	711,845 (単位:百万ドル) 805,667 (単位:億円)
株価変化率(%)	11.7 (過去6ヶ月間) 26.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	30.6 (倍)
株価売上高比率	6.8 (倍)
PBR	4.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	14.4 (%)
株式ベータ	1.13 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/12	74,989	14	19,360	17	16,348	16	22.84	0.00
2016/12	90,272	20	23,716	23	19,478	19	27.85	0.00
四半期業績								
2016/Q3	22,451	—	5,767	—	5,061	—	7.25	0.00
2017/Q3	27,772	24	7,782	35	6,732	33	9.57	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 20億人以上のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

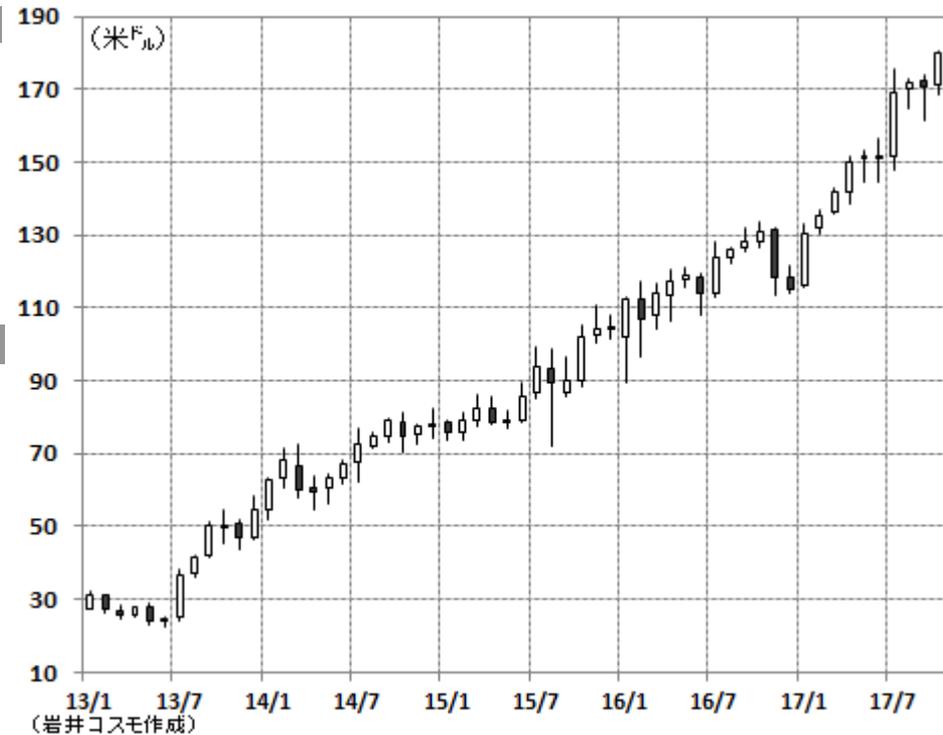
#### 会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動)は全世界で20.1億人(17年4-6月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。収入構成の97%が広告、3%が決済手数料などの広告外収入(前期実績)。対話アプリのワッツアップを14年10月に買収。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は20,658名(17年6月末)。

#### 注目ポイント

□ **広告事業の急成長が続く**：ユーザーの伸びや利用時間、広告表示回数の増加が広告収入の高水準の伸びを支えている。広告主数はフェイスブックが500万社、写真共有SNSの子会社インスタグラムで100万社を突破した。広告主はターゲットを絞り込み、TVコマーシャルの様な「動画広告」を効果的にユーザーに流すことができる。

□ **インスタグラムやワッツアップの収益貢献に期待**：傘下のSNSであるインスタグラムは月間利用者数で8億人超、ワッツアップが同13億人超に達する。4-6月期決算ではインスタグラムの広告収入が売上増に貢献。インスタ、ワッツアップ両事業の早期収益化が期待される。



株 価 チ ャ ー ト ( 2013年以降・月足 )

株価データ	
株 価(米ドル)	179.87 ( 10/30 )
52週高値(日付)	180.69 ( 17/10/30 )
52週安値(日付)	113.56 ( 16/11/14 )
時 価 総 額	522,335 (単位:百万ドル) 591,179 (単位:億円)
株価変化率(%)	19.7 (過去6ヶ月間) 37.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	41.0 (倍)
株価売上高比率	15.7 (倍)
PBR	7.9 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.0 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/12	17,928	44	6,225	25	3,669	25	1.29	0.00
2016/12	27,638	54	12,427	100	10,188	178	3.49	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2016/Q2	6,436	—	2,734	—	2,276	—	0.78	0.00
2017/Q2	9,321	45	4,401	61	3,890	71	1.32	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

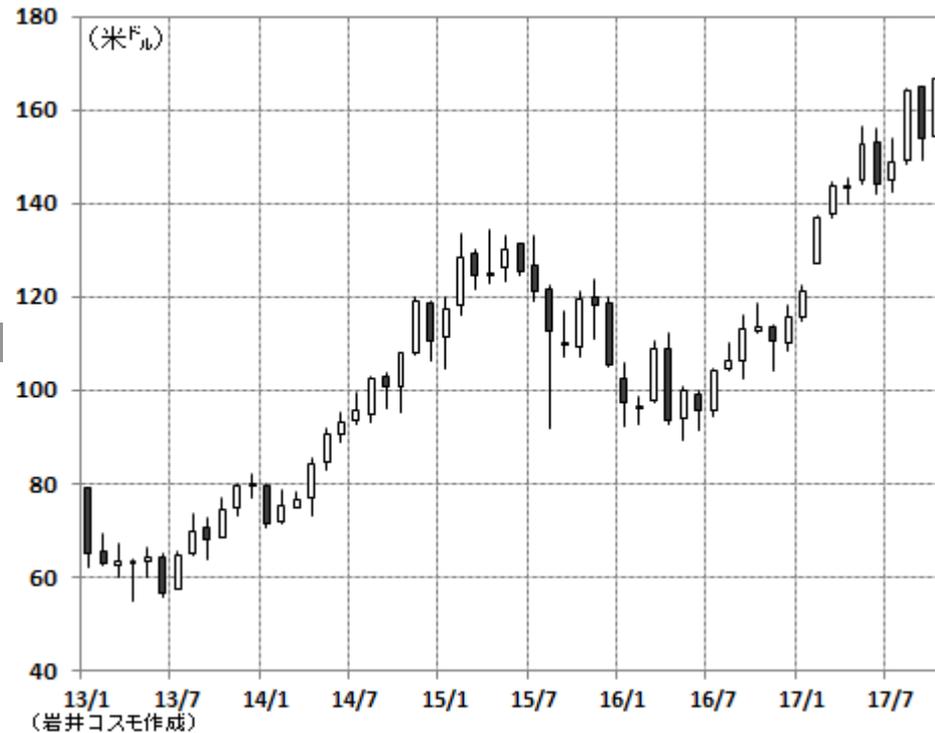
## デジタルIT機器の設計・販売大手。「iPhone」を核にした新たな収益機会の拡大を模索

### 会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

### 注目ポイント

- **「独自の経済圏」を構築中、スマホ以外の収益機会を模索**：スマホ市場は成長鈍化に直面したがiPhone人気は根強く、高価格スマホ市場で一定の地位を固めた。アップストア上でのアプリ開発業者の16年の売上が200億ドルを突破、一部がアップルの収入を支えている。
- **17年4-6月期業績は7%増収、12%最終増益**：第3四半期業績は前年同期比で7%増収、純利益が同12%増益。売上全体の5割強を占めたiPhoneの売上は同3%増、iPad販売やサービス収入が好調だった。続く7-9月期売上見通しは同5~11%増の490億ドル~520億ドル。9月12日には新型iPhone3機種を発表、最上位機種同「X(テン)」は価格999ドルからと高級路線を継続している。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	166.72 ( 10/30 )
52週高値(日付)	168.07 ( 17/10/30 )
52週安値(日付)	104.09 ( 16/11/14 )
時価総額	861,147 (単位:百万ドル) 974,646 (単位:億円)
株価変化率(%)	16.1 (過去6ヶ月間) 46.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	19.0 (倍)
株価売上高比率	3.9 (倍)
PBR	6.5 (倍)
税前提当利回り(%)	1.51 (直近年率)
配当成長率(%)	10.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	36.0 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/09	233,715	28	71,230	36	53,394	35	9.22	1.98
2016/09	215,639	-8	60,024	-16	45,687	-14	8.31	2.18
四半期業績								
2016/Q3	42,358	—	10,105	—	7,796	—	1.42	0.57
2017/Q3	45,408	7	10,768	7	8,717	12	1.67	0.63

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米国の動画配信サービス最大手。オリジナル・コンテンツの充実で世界の加入者獲得を推進

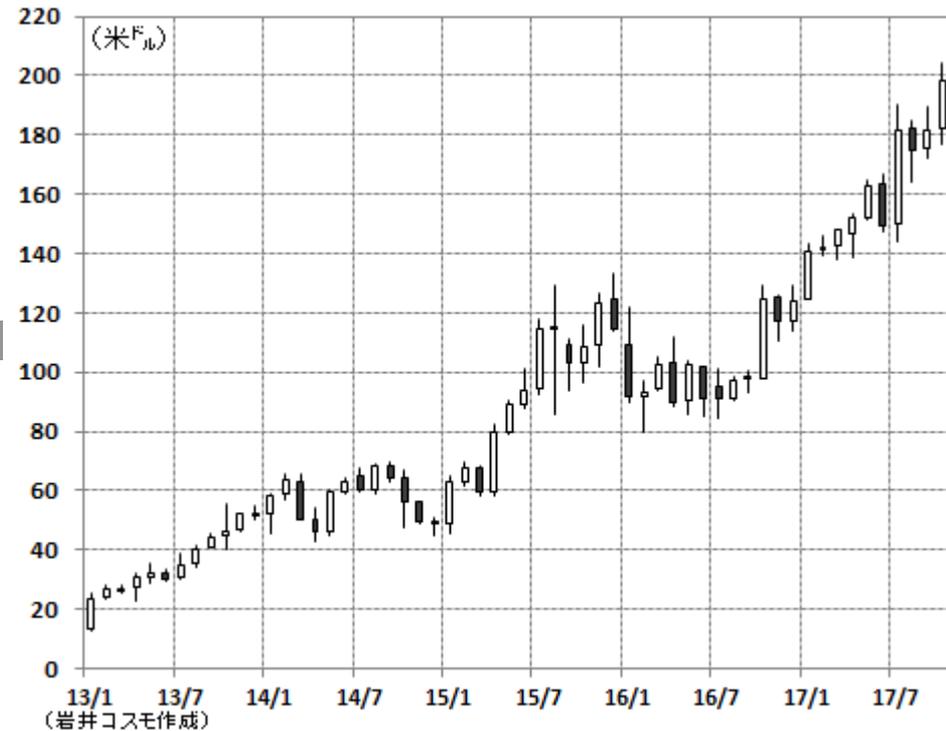
### 会社概要

1997年創立。オンラインDVDレンタルと映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。ネット宅配DVDレンタルから始めたが、現在は動画配信事業が主力。米国の基本プランは月額10.99ドルで、見放題サービスを提供。人気映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化中。現在の展開地域は190カ国超、加入者数は米国が5,277万人、海外が5,648万人(17年9月末)。

### 注目ポイント

□ **海外の視聴者数が米国を逆転**: 16年1月に展開地域を190カ国超に拡大(日本は15年から参入)。中国はコンテンツ販売することで現地企業と合意。オリジナルドラマやコメディ番組がヒットし、17年6月末の海外のストリーミング視聴会員数が初めて米国の会員数を上回った。

□ **米国で値上げ、18年制作費に最大80億ドル**: 11月より米国の基本料金を従来より1ドル値上げし、価格面での収入増加が見込める。他社との差別化の決め手として自社制作番組に注力。来年には新作映画を80作品予定する。18年の番組制作費は70~80億ドル(17年60億ドル)と米大手メディアに迫る規模となる見込み。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	198.37 ( 10/30 )
52週高値(日付)	204.38 ( 17/10/17 )
52週安値(日付)	110.75 ( 16/11/14 )
時価総額	85,841 (単位:百万ドル) 97,155 (単位:億円)
株価変化率(%)	30.3 (過去6ヶ月間) 56.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	200.4 (倍)
株価売上高比率	7.9 (倍)
PBR	25.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	15.0 (%)
株式ベータ	1.43 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/12	6,780	23	306	-24	123	-54	0.28	0.00
2016/12	8,831	30	380	24	187	52	0.43	0.00
四半期業績								
2016/Q3	2,290	—	106	—	52	—	0.12	0.000
2017/Q3	2,985	30	209	97	130	152	0.29	0.000

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

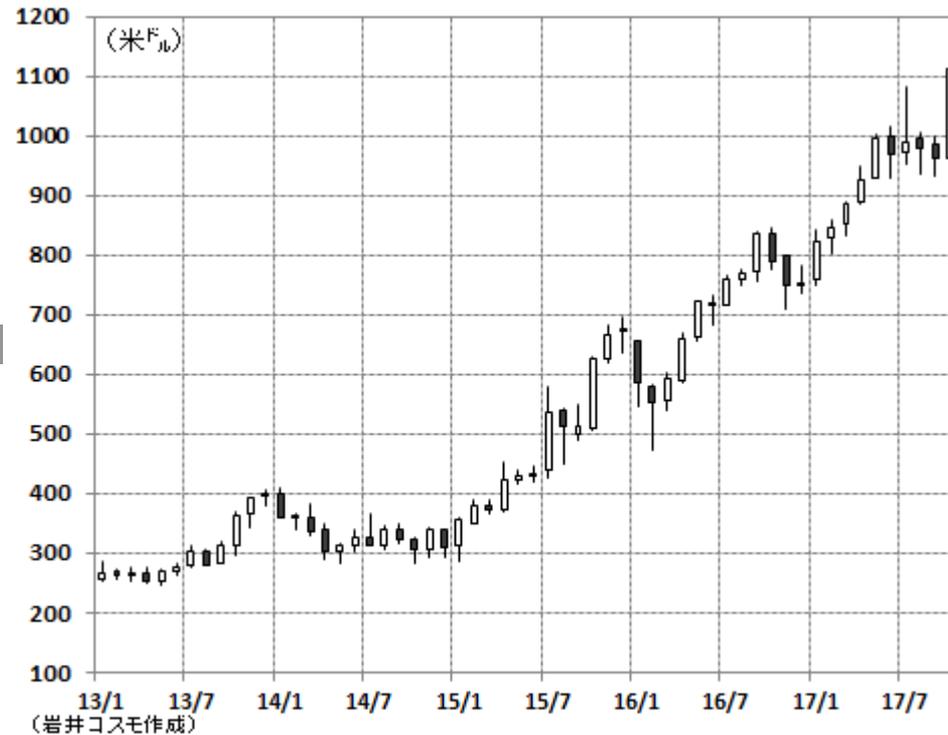
## インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

### 会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。個人有料会員向けでは動画コンテンツや音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカ型のエコが欧米でヒット。本社はワシントン州シアトル。

### 注目ポイント

- **米高級スーパーを買収、食品小売を強化**: 460店以上を展開する高級スーパー、ホールフーズ・マーケットの買収を17年8月に完了し、早速、値引きを開始。アマゾンの有料会員は特別価格で提供され、有料会員の特典が増し、買収効果は7-9月期決算にも表れた。ネットと実店舗との融合によりアマゾンの顧客の囲い込みや勢力拡大が進みそう。
- **クラウド・インフラ市場を主導**: 企業・自治体向けのクラウド・インフラ市場で同社は世界最大手として規模を拡大させながら、市場を主導する。日本ではクックパッドや任天堂、日経電子版などがデータ管理を委ねる。同事業(AWS=アマゾン・ウェブ・サービス)の営業利益は足下全体の半分以上を占めるまで成長している。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1110.85 (10/30)
52週高値(日付)	1122.66 (17/10/30)
52週安値(日付)	710.25 (16/11/14)
時価総額	535,288 (単位: 百万ドル) 605,839 (単位: 億円)
株価変化率(%)	20.1 (過去6ヶ月間) 43.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	281.5 (倍)
株価売上高比率	3.3 (倍)
PBR	21.7 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	9.1 (%)
株式ベータ	1.19 (対S&P500)

### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/12	107,006	20	2,233	1,154	596	黒転	1.25	0.00
2016/12	135,987	27	4,186	87	2,371	298	4.90	0.00

### 四半期業績

2016/Q3	32,714	—	575	—	252	—	0.52	0.00
2017/Q3	43,744	34	347	-40	256	2	0.52	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

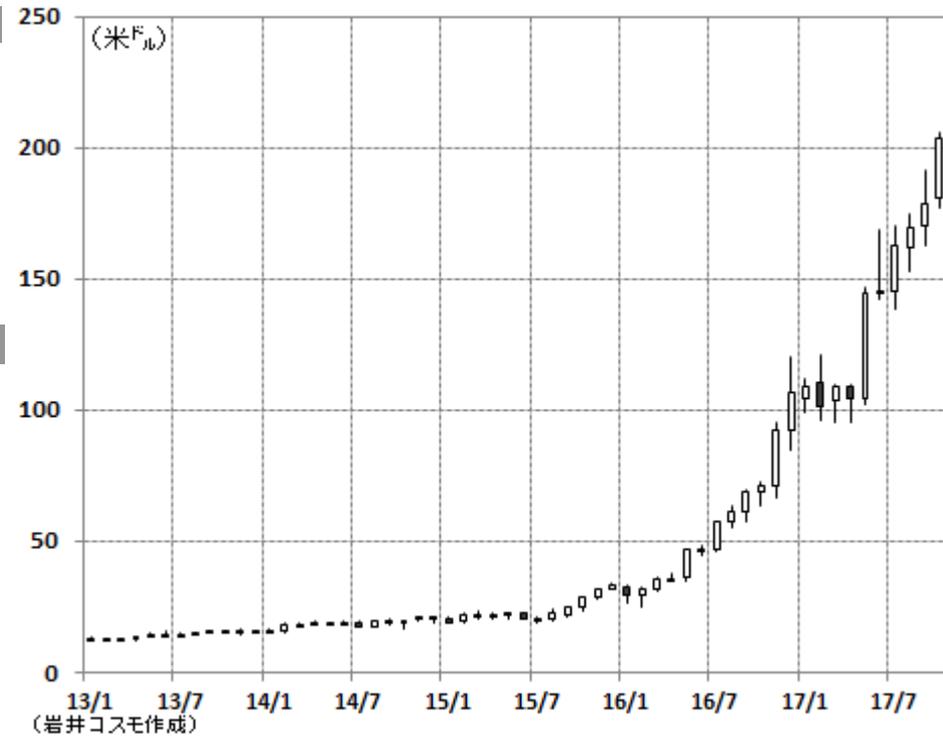
### 「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

#### 会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行わないファブレスメーカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成はゲーム市場向けが59%、視覚化技術に関するプロ向けが12%、AI含むデータセンター向けが12%、自動車向けが7%、OEM&IPが10%(17年1月期)。

#### 注目ポイント

- 「AI」の計算処理に同社GPUが活躍: IBMやアマゾン、マイクロソフト、アルファベットなどのIT大手各社は「深層学習(自ら学ぶ)」といった新技術を用いた人工知能の計算処理に同社半導体を利用している。
- 自動車メーカー等との提携進む: 17年5月に自動運転車の開発目的でトヨタ自動車と提携したの続き、6月に独フォルクスワーゲンとAI分野で提携した。同社は既に米テスラや独アウディとも提携関係にある。
- 5-7月期は56%増収: 今第2四半期売上は前年同期比56%増の22.3億ドルと過去最高を更新。AIや自動車向け以外に、任天堂スイッチや仮想通貨の発掘業者向けのGPU販売も上乗せ要因となった。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	203.84 (10/30)
52週高値(日付)	206.08 (17/10/30)
52週安値(日付)	66.59 (16/11/04)
時価総額	122,304 (単位: 百万ドル) 138,424 (単位: 億円)
株価変化率(%)	95.4 (過去6ヶ月間) 188.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	57.4 (倍)
株価売上高比率	13.9 (倍)
PBR	20.5 (倍)
税前提当利回り(%)	0.27 (直近年率)
配当成長率(%)	21.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	43.8 (%)
株式ベータ	1.80 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2016/01	5,010	7	747	-2	614	-3	1.08	0.395
2017/01	6,910	38	1,934	159	1,666	171	2.57	0.485
四半期業績								
2017/Q2	1,428	—	317	—	261	—	0.41	0.115
2018/Q2	2,230	56	688	117	583	123	0.92	0.140

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## アップルの有力サプライヤー。IoT(モノのインターネット)拡大の恩恵享受

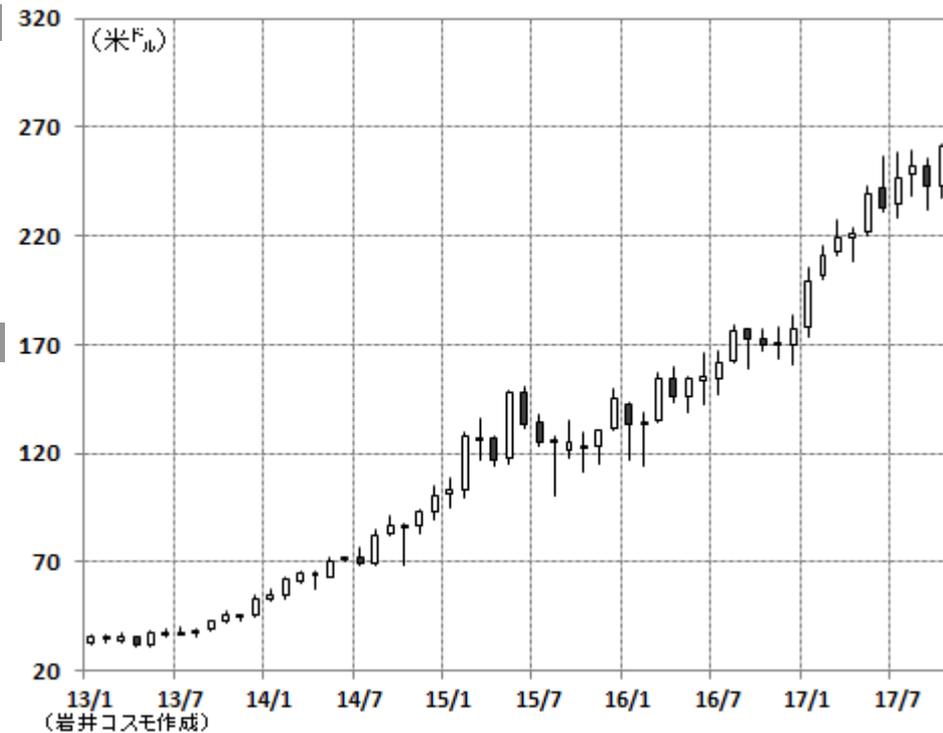
### 会社概要

半導体製造大手。半導体専門としては売上規模でインテル、クアルコムに次ぐ3番手に位置。アバゴ・テクノロジーズが16年2月に旧ブロードコムを買収し、無線から有線まで通信分野で最も多品種の半導体を手掛ける会社となった。旧アバゴは通信や記憶装置分野で、旧ブロードコムはWi-Fi(無線LAN)関連の半導体などの分野でそれぞれ強みを持つ。フィラデルフィア半導体株指数の構成銘柄。

### 注目ポイント

□ **アップルの有力サプライヤー。「IoT時代」到来は追い風**：長期業績目標として売上高成長率・年平均+5%、営業利益率約45%(調整後ベース)、純現金収支・売上高比35%などを掲げる。半導体供給を通じてあらゆるモノがネット接続する「IoT時代」の恩恵享受が期待される。株主還元では純現金収支の50%を配当に充当する方針(前期・同比率28%)を持ち、増配余地がある。

□ **最新iPhoneに半導体を供給**：前期の最上位顧客はアップルで売上の約10%を占めた。調査会社のiPhone8の分解レポートでは無線充電機能用を含む複数の半導体が同社製だったことが判明した。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	261.23 ( 10/30 )
52週高値(日付)	262.17 ( 17/10/30 )
52週安値(日付)	160.65 ( 16/12/02 )
時価総額	106,576 (単位:百万ドル) 120,623 (単位:億円)
株価変化率(%)	18.3 (過去6ヶ月間) 54.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	64.6 (倍)
株価売上高比率	6.2 (倍)
PBR	5.4 (倍)
税前提当利回り(%)	1.56 (直近年率)
配当成長率(%)	110.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	2.7 (%)
株式ベータ	1.50 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/10	6,824	60	1,632	273	1,364	419	4.85	1.55
2016/10	13,240	94	-409	赤転	-1,739	赤転	-4.86	1.94
四半期業績								
2016/Q3	3,792	—	-264	—	-298	—	-0.75	0.50
2017/Q3	4,463	18	648	黒転	481	黒転	1.14	1.02

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

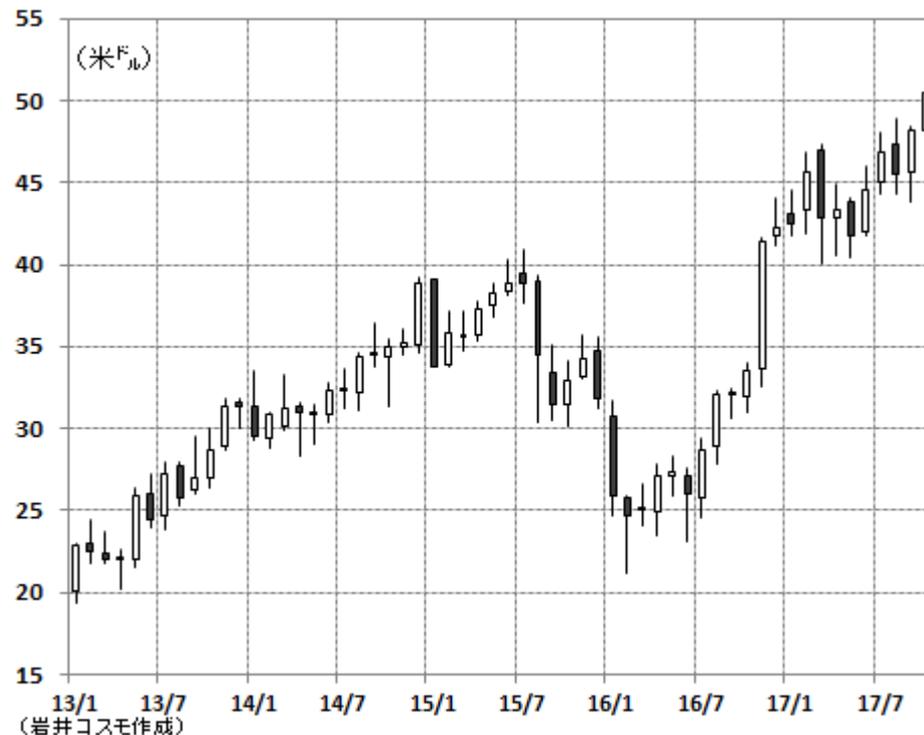
### 株式に強い米投資銀行大手。富裕層ビジネスが拡大中

#### 会社概要

世界的な金融サービス会社。顧客層は法人、金融機関、政府など、個人は富裕層が対象。事業セグメントは法人・機関投資家向け証券業務(16年度の純利益の61%)、リテールを核としたウェルス・マネジメント業務(同35%)、資産運用業務(同4%)の3つ。17年9月末時点の総資産は8,537億ドル。三菱UFJフィナンシャル・グループと戦略的提携関係を締結、出資を受け入れ、同グループが株式の2割強を保有、筆頭株主。

#### 注目ポイント

- **株式関連や M&A業務で上位**: 近年の世界の金融機関の各業務ランキングで株式引受け(公募・売り出しやIPOの幹事)や株式セールス&トレーディング、M&A(合併・買収)助言業務等において上位3位内に入り、他社に比べて強い。サウジアラムコのIPO計画にも参加との報道。
- **富裕層向け資産管理業務が拡大**: ウェルス・マネジメントと呼ばれる富裕層向けの資産管理業務が拡大しており、預り資産増加に伴って手数料が増加、安定した収益源が同社の業績を支えている。
- **25%増配などの株主還元強化へ**: 6月のFRBの年次健全性審査に合格、7-9月期以降の四半期配当金を従来比25%増の0.25ドル、最大50億ドルの自社株取得枠を設定するとした。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	50.46 ( 10/30 )
52週高値(日付)	51.47 ( 17/10/25 )
52週安値(日付)	32.56 ( 16/11/04 )
時価総額	92,674 (単位:百万ドル) 104,888 (単位:億円)
株価変化率(%)	16.3 (過去6ヶ月間) 50.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	13.7 (倍)
株価売上高比率	2.1 (倍)
PBR	1.3 (倍)
税前配当利回り(%)	1.98 (直近年率)
配当成長率(%)	28.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	9.2 (%)
株式ベータ	1.62 (対S&P500)

通期業績								
決算期	経常収益 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/12	35,155	3	8,495	137	5,671	80	2.90	0.55
2016/12	34,631	-1	8,848	4	5,508	-3	2.92	0.70
四半期業績								
2016/Q3	8,909	—	2,381	—	1,518	—	0.81	0.20
2017/Q3	9,197	3	2,482	4	1,688	11	0.93	0.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

クレジットカード決済サービス世界最大手。現金から電子決済への移行による恩恵を享受

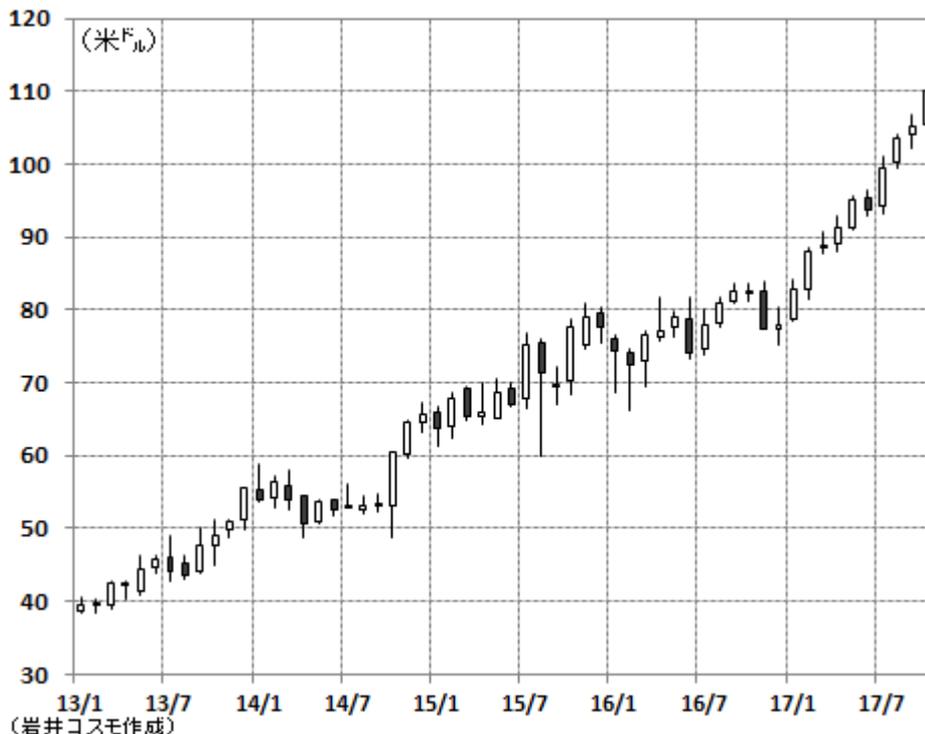
## 会社概要

クレジットカード決済サービス世界最大手。200カ国・地域で認証ネットワーク「ビザ・ネット」を展開。デビットカードやプリペイドカード、ATM決済サービスも手掛ける。カード総発行枚数は31.9億枚(17年6月末)。カードの決済サービスのみを行い、与信業務は銀行が行う仕組みであるため、事業リスクが比較的小さい。現金から電子決済への移行による恩恵を享受。NYダウ工業株平均構成銘柄。

## 注目ポイント

□ **第4四半期業績は14%増収**：17年7-9月期業績は欧州の買収効果一巡後も前年同期比14%増収、22%営業増益を達成。収入の源泉となる総取引高は、主要国である米国が同8%増と堅調な伸び。総取扱件数は同13%増の292億件。18年度業績見通しを提示し、増収率は前年比1桁台後半の伸び、特殊要因を除く1株利益成長率は同10%台後半とした。

□ **米国でビザのアマゾン有料会員カードを発行**：ネット小売世界最大手のアマゾンがJPモルガンと提携し、有料会員向けにビザ・ブランドの専用カードを発行すると17年1月に発表。還元率の高さからカード発行の増加が見込まれ、同社にとって追い風となる可能性がある。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	110.04 ( 10/30 )
52週高値(日付)	110.74 ( 17/10/26 )
52週安値(日付)	75.17 ( 16/12/02 )
時価総額	250,213 (単位:百万ドル) 283,191 (単位:億円)
株価変化率(%)	20.6 (過去6ヶ月間) 33.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	32.0 (倍)
株価売上高比率	12.6 (倍)
PBR	8.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.71 (直近年率)
配当成長率(%)	17.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	24.6 (%)
株式ベータ	0.94 (対S&P500)

通期業績								
決算期	営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2016/09	15,082	9	7,883	-13	5,991	-5	2.48	0.590
2017/09	18,358	22	12,144	54	6,699	12	2.80	0.690

四半期業績								
決算期	営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2016/Q4	4,261	—	2,625	—	1,931	—	0.79	0.165
2017/Q4	4,855	14	3,212	22	2,140	11	0.90	0.195

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

オンライン決済サービス大手。安心、簡単、受渡し保証などを武器に勢力拡大中

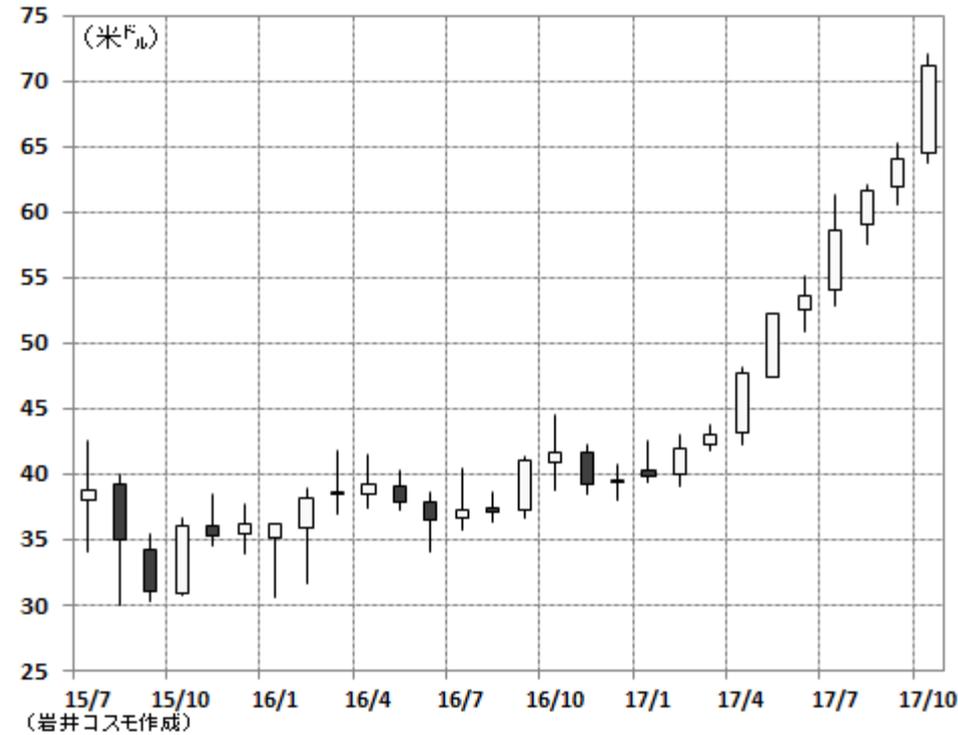
### 会社概要

98年創業の米オンライン決済サービス大手。02年にイ・ベイにより買収され、15年7月に分離・独立した。事前登録したクレジットカードや銀行口座を用いてネットで代金決済するサービス等を展開、決済の堅固な安全性や利便性の高さが特徴。16年の取引処理件数は前年比24%増の61億件。世界の100以上の通貨の支払いに対応。地域別売上構成は米国が53%、英国が12%、その他が35%(16年実績)。

### 注目ポイント

□ **モバイル決済サービスの成長で勢力拡大**: 17年7-9月期の総決済高は1,140億ドルと為替変動を除く伸びで前年同期比29%成長を記録。中核の「ペイパル」モバイル決済高が同54%増となったほか、米国の若者で人気の友人同士で割り勘できるアプリ「ベンモ」の決済高が同倍増しており、モバイル決済で存在感が高まっている。

□ **還元率の高い自社カードも発行**: 米国ではマスターカードと提携し、自社ブランドのクレジットカードやデビットカードも発行、高いポイント還元率で、年会費は無料、ペイパル口座にキャッシュバックされる仕組み。オンラインの決済だけでなく、実店舗の決済でもサービスを拡充する。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	71.15 ( 10/30 )
52週高値(日付)	72.07 ( 17/10/26 )
52週安値(日付)	38.06 ( 16/12/02 )
時価総額	85,516 (単位:百万ドル) 96,787 (単位:億円)
株価変化率(%)	49.1 (過去6ヶ月間) 70.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	53.4 (倍)
株価売上高比率	6.9 (倍)
PBR	5.6 (倍)
税配前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	10.6 (%)
株式ベータ	1.21 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/12	9,248	15	1,461	15	1,228	193	1.00	0.000
2016/12	10,842	17	1,586	9	1,401	14	1.15	0.000

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2016/Q3	2,667	—	348	—	323	—	0.27	0.000
2017/Q3	3,239	21	423	22	380	18	0.31	0.000

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

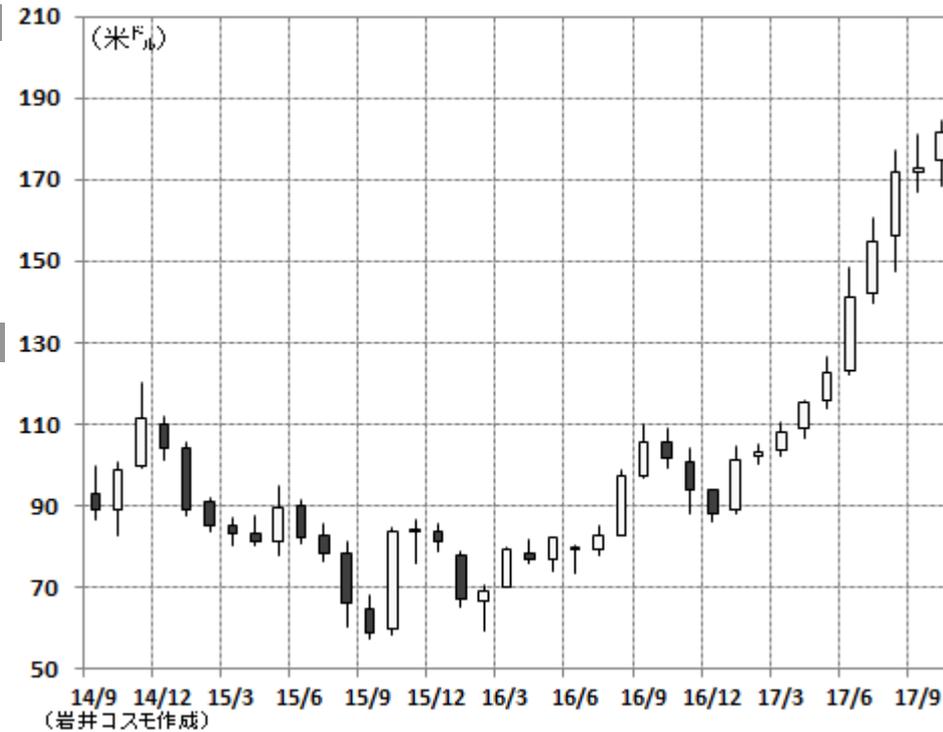
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

#### 会社概要

中国の電子商取引最大手。中国国内の個人向けや、法人向け、国際間の複数の電子商取引サイト等を運営、主要サイトは電子商店街兼オークションサイトの「タオバオ・トットコム(淘宝网)」、ブランド品ネット通販の「天猫Tモール」。業者や個人にネット上で売買する場所を提供し、主に商品露出目的に出店者が支払う広告収入や取引額を基にした手数料等を得る事業モデル。本社は中国浙江省杭州市。

#### 注目ポイント

- **中国市場シェア5割超を有するガリバー的存在**: 16年の中国ネット通販の取扱高は前年比3割成長と高水準。アリババはモバイル化対応を進め、出店者から広告収入や取引手数料を得やすい仕組みを構築し、中国国内市場シェアの半分以上を維持するガリバー的存在。
- **今期増収率は45-49%増の見通し**: 6月開催の投資家向け説明会にて今18年3月期の増収率を前期比45-49%増の見通しと提示。ネット通販以外にもデータ受託管理のインフラ・クラウド事業や音楽・動画配信事業が高成長となる見通し。中核のネット通販事業では、20年3月期の取扱高目標として17年3月期比8割増の1兆ドルを掲げ、欧米や東南アジアなどの市場シェア獲得も画策している。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	181.58 ( 10/30 )
52週高値(日付)	184.7 ( 17/10/11 )
52週安値(日付)	86.02 ( 16/12/22 )
時価総額	465,054 (単位:百万ドル) 526,349 (単位:億円)
株価変化率(%)	57.2 (過去6ヶ月間) 78.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	65.2 (倍)
株価売上高比率	17.2 (倍)
PBR	10.4 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.4 (%)
株式ベータ	1.23 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万元)	前同比 (%)	営業利益 (百万元)	前同比 (%)	当期利益 (百万元)	前同比 (%)	1株利益 (元)	配当 (元)
2016/03	101,143	33	29,102	26	71,460	196	27.89	0.00
2017/03	158,273	56	48,055	65	43,675	-39	16.97	0.00

#### 四半期業績

2017/Q1	32,154	—	8,814	—	7,550	—	2.94	0.00
2018/Q1	50,184	56	17,513	99	14,683	94	5.65	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### オンライン旅行代理店の世界大手。観光業界の成長の恩恵を享受

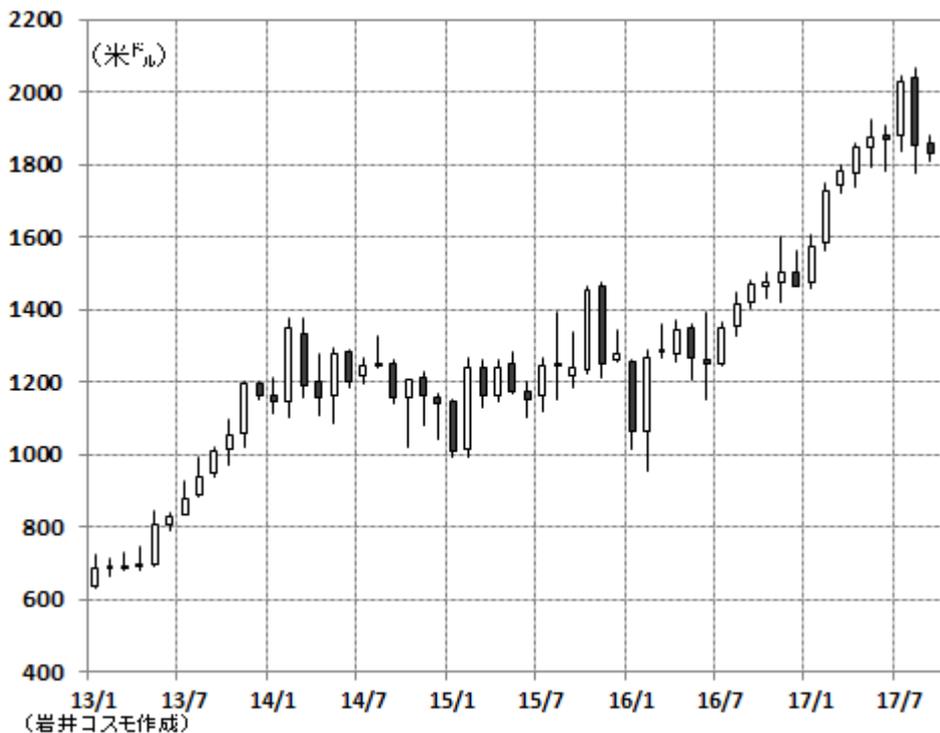
#### 会社概要

オンライン旅行代理店世界大手。旅行代理店業界のオンライン化の波に乗り、M&Aを通じて米国、欧州、アジアまで展開地域を広げてきた勝ち残り組。世界展開を意識し、14年に「プライスライン・ドットコム」から現社名に変更。中核サイトはオランダ発の「ブッキング・ドットコム」。近年では13年に旅行料金比較サイトのカヤックや14年にレストラン予約のオープンテーブルを買収。従業員数は約18,500名(16年末時点)

#### 注目ポイント

□ **スマホ片手に旅行する時代。業界成長の恩恵享受**: 世界の旅行・観光関連産業は世界経済の成長率を長く上回って推移するなか、スマホ片手に気軽に旅行できる時代にもなり、調査会社によれば、世界のオンライン旅行予約市場はビジネス旅客(出張)需要の盛り上がりも加わり、年平均15%前後の伸びが続くと予想される。

□ **民泊や体験型消費への対応も**: 民泊(バケーション・レンタル)や体験型消費(美術館・博物館チケットを試験的な取扱い)のサービスも提供するなど最新の旅行トレンドにも対応。同業の米エクスペディア、プライスラインも出資する中国シトリップと世界3強体制を形成しつつある。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1879.73 (10/30)
52週高値(日付)	2067.18 (17/08/08)
52週安値(日付)	1422.49 (16/11/04)
時価総額	92,218 (単位: 百万ドル) 104,372 (単位: 億円)
株価変化率(%)	1.8 (過去6ヶ月間) 27.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.2 (倍)
株価売上高比率	8.1 (倍)
PBR	7.9 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.6 (%)
株式ベータ	1.38 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/12	9,224	9	3,259	6	2,551	5	49.45	0.00
2016/12	10,743	16	2,906	-11	2,135	-16	42.65	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2016/Q2	2,556	—	732	—	581	—	11.60	0.00
2017/Q2	3,025	18	893	22	720	24	14.39	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 外科手術ロボットを製造・販売。手術件数の伸びが海外中心に伸長

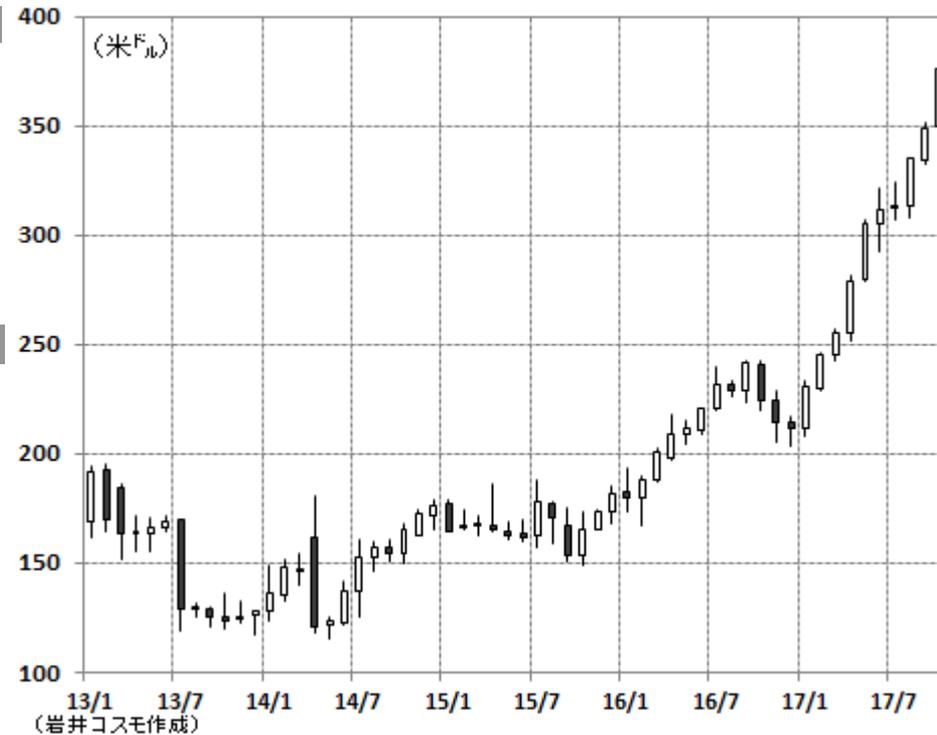
#### 会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供できるのが特徴。日本の病院でも同社ロボット手術が普及。17年9月末時点の稼動状況は、全世界で4,271台、うち米国2,770台、海外が1,501台。16年度の全世界の手術件数実績は約75万件。米国外の売上構成比は2012年の約2割から2016年は約3割に拡大。

#### 注目ポイント

□**体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□**17年の手術件数は15%前後の伸び**: 17年の「ダ・ビンチ」を使った手術件数は中国や日本での普及もあり、前期比15~16%伸びる見通し。1回の手術毎に700~3,500ドルの手術器具が必要となることから、ロボットに加えて手術器具・周辺機器が収益の柱となっている。



株価チャート (2013年以降・月足)

#### 株価データ

#### 株価指標 (バリュエーション)

株価 (米ドル)	376.09 ( 10/30 )
52週高値 (日付)	382.06 ( 17/10/26 )
52週安値 (日付)	203.57 ( 16/12/07 )
時価総額	42,140 (単位: 百万ドル) 47,694 (単位: 億円)
株価変化率 (%)	35.0 (過去6ヶ月間) 69.3 (過去1年間)

実績PER	47.7 (倍)
株価売上高比率	14.2 (倍)
PBR	34.0 (倍)
税前提当利回り (%)	無配 (直近年率)
配当成長率 (%)	— (過去1年間)
株主資本利益率 (ROE)	17.2 (%)
株式ベータ	0.51 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/12	2,384	12	740	36	589	41	5.18	0.00
2016/12	2,704	13	945	28	736	25	6.24	0.00

#### 四半期業績

2016/Q3	683	—	256	—	211	—	1.77	0.00
2017/Q3	806	18	279	9	298	41	2.55	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

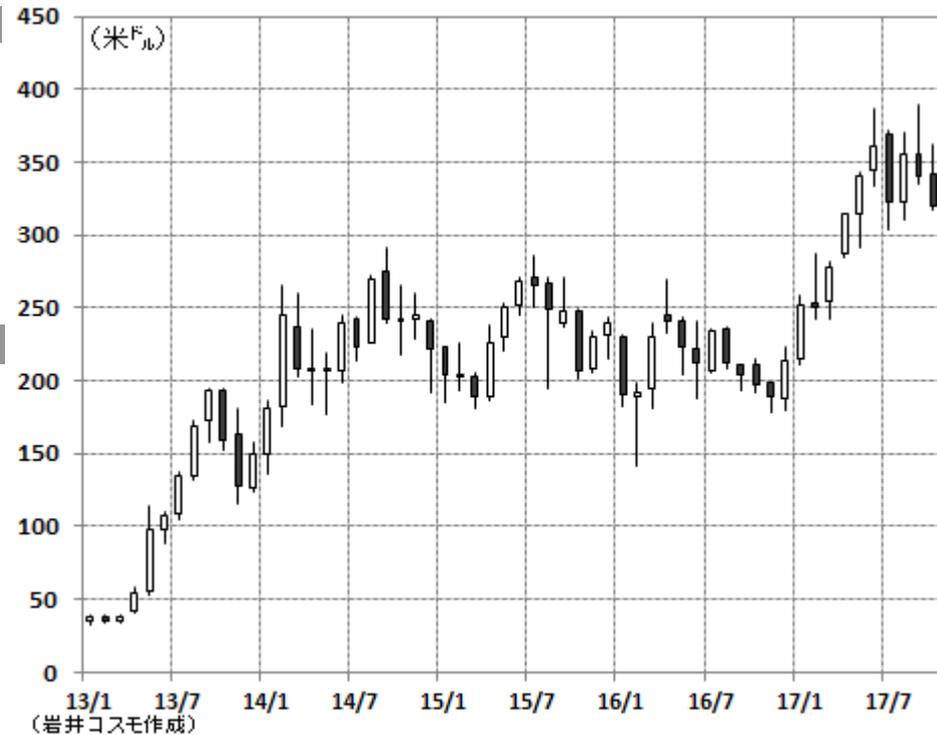
### 従来の概念を覆した電気自動車メーカー

#### 会社概要

2003年設立の電気自動車メーカ。パナソニックとは電池の提供を通じ提携関係。08年にスポーツカー「ロードスター」、12年にセダン型「モデルS」、15年にSUVの「モデルX」を投入。長い航続距離・加速性能・優れたデザインで高級ブランドカーの地位を確立。初期出資者で現CEOのイーロン・マスク氏は決済サービス「ペイパル」創業者として成功、宇宙ビジネスの「スペースX」にも経営参画するカスマ経営者。

#### 注目ポイント

- **初の量産車「モデル3」を生産開始**: 初の量産車となる「モデル3」を17年7月に生産開始、7月28日に出荷式を実施。価格は3.5万ドルで充電1回の航続距離が約354キロメートル。事前予約は50万台を超えたとした。「モデル3」の生産は10-12月期中に週産5千台、18年中に週産1万台の加速度的な目標を掲げる。
- **量産化で原価低減を図る**: 「モデル3」はテスラ車全体で2020年・年産100万台という壮大な目標達成の切り札となる。17年からはパナソニックと共同で巨大電池工場を稼働させ、リチウムイオン電池を含めた量産化による原価低減の実現を図り、最終的な黒字化を目指す。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株価 (米ドル)	320.08 ( 10/30 )	実績PER	N/A (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値 (日付)	389.565 ( 17/09/18 )	株価売上高比率	5.0 (倍)	2015/12	4,046	27	-717	赤継	-889	赤継	-6.93	0.00
52週安値 (日付)	178.19 ( 16/11/14 )	PBR	10.5 (倍)	2016/12	7,000	73	-667	赤継	-675	赤継	-4.68	0.00
時価総額	53,417 (単位:百万ドル) 60,458 (単位:億円)	税配前配当利回り (%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率 (%)	1.9 (過去6ヶ月間) 60.1 (過去1年間)	配当成長率 (%)	— (過去1年間)	2016/Q2	1,270	—	-238	—	-293	—	-2.09	0.00
		株主資本利益率 (ROE)	-20.0 (%)	2017/Q2	2,790	120	-241	赤継	-336	赤継	-2.04	0.00
		株式ベータ	1.72 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

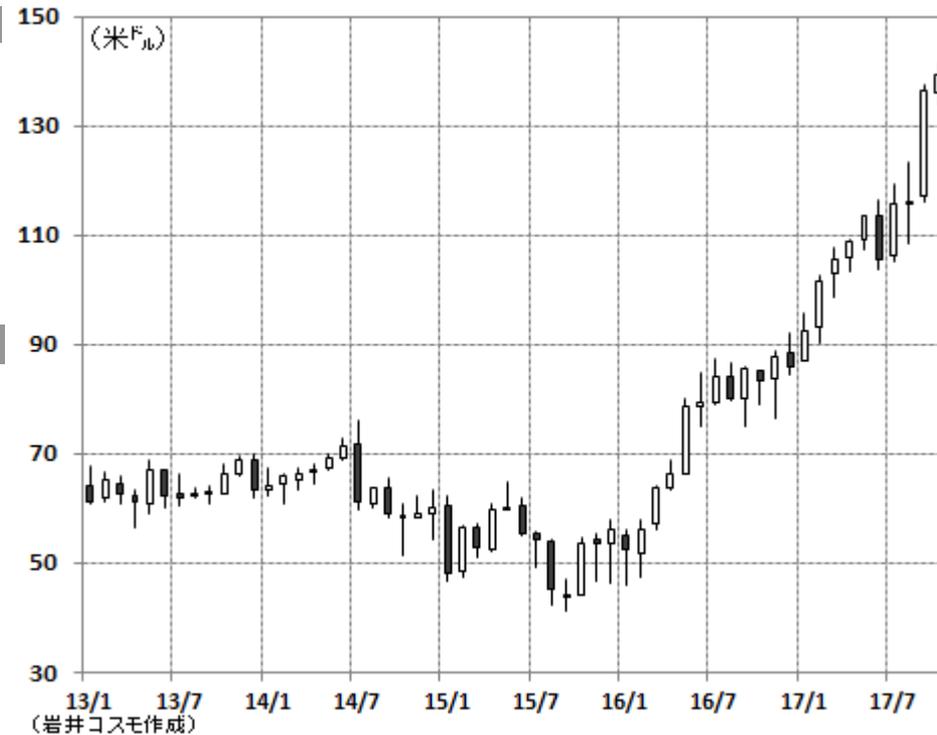
## リチウム生産の世界大手。電気自動車(EV)市場拡大による恩恵享受

### 会社概要

特殊化学品メカ。競合相手が限られ、比較的高い収益性が見込める「ニッチ」な素材や化成品、触媒等を製造することで成長する戦略をとる。2015年1月にリチウムを生産する米ロックウッド社を買収。2016年度の部門別売上高構成比は、「リチウム/先端素材」が36%、「臭素」30%、「精製/触媒」27%、「精密化学製品等のその他」7%。本社は米ルイジアナ州ハトンスーシュ。

### 注目ポイント

- **電気自動車(EV)の普及がリチウム需要のけん引役に**：リチウムはモバイル機器向けの電池や窯業原料に用いられているが、自動車生産の現状1%にも満たないEVが今後普及することにより、会社側はリチウム需要は16年の推定19万トンから21年に9割超増の37万トンに高まると予測し、リチウム資源の産出能力を大幅に拡大する計画。
- **テスラがEV大量生産、パナソニックに納入**：テスラはEVに大容量のリチウムイオン電池を採用し、大規模な増産計画を進める。EV用の電池にはスマホ向け電池の1万個以上のリチウムが必要とされる。同社はテスラの電池を生産するパナソニックにリチウムを納入している。



株価チャート (2013年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	139.51 ( 10/30 )
52週高値(日付)	141.38 ( 17/10/23 )
52週安値(日付)	76.34 ( 16/11/14 )
時価総額	15,412 (単位:百万ドル) 17,443 (単位:億円)
株価変化率(%)	28.1 (過去6ヶ月間) 68.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	36.2 (倍)
株価売上高比率	5.6 (倍)
PBR	4.1 (倍)
税配当利回り(%)	0.92 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	5.0 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	25.6 (%)
株式ベータ	1.43 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2015/12	2,826	—	345	—	335	—	3.00	1.160
2016/12	2,677	-5	575	66	644	92	5.68	1.220

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2016/Q2	669	—	123	—	-315	—	-2.78	0.305
2017/Q2	737	10	139	13	103	黒転	0.92	0.320

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## ■商号等

## 取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

## ■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2042(税込み、ただし最低2,700円)の委託手数料をご負担いただきます。
  - ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金(円貨)に対して最大0.864%の手数料率(税込)の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
  - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
  - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
    - 販売手数料(購入価額に対して最大3.78%(税込))
    - 信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
    - 信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.16%(税込))
    - その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

## ■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
  - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。